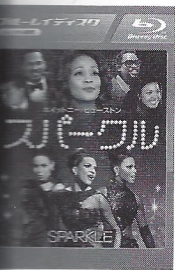


アカペラの伝統で魅了したヴォーカル・グループ パースエイジonz来日公演



【脚本】マーラ・ブロック・ア
 【キャスト】ホットニー・ヒュースト
 ー・レイジョ、チカ・サンプター
 ナスコ(2.40:1) / 字幕 ①日本語
 (英語) ②日本語吹替
 4,980円(税込) ■映像特典(約
 100分) ■フルパフォーマンス4種(ほか
 100分(税込) ■映像特典(約37分

結成50周年を迎えたアカペラ・
 ヴォーカル・グループ、パースエイジ
 onzが昨年12月に待望の初来日を
 果たした。12月26日から29日の4
 日間、丸の内のコトクラブに出演
 し、その最終日のステージを観たが、
 アカペラ・ハーモニーの素晴らしさ
 を堪能することができた。

ベースのジミー・ヘイズ、バリトン
 のジェイオーティス・ワシントンは結
 成当初からのメンバーで、すでに70
 才を超えているが、年齢をまったく感
 じさせない、すばらしい喉を披露し
 た。とりわけジミー・ヘイズのビリビリと腹に響くよう
 な低音ヴォイスは、グループ全体のハーモニーの頑強
 な土台となって、ステージを引き締めた。リード・ヴォー
 カル/テナーのデイヴ・レヴェルズは最終ステージの
 盛り上げ役を担い、観客と積極的にコミュニケーション
 をとる。ステージに観客を上げたり、メンバー全員
 が客席を練り歩いたり、常にエンタテインすることを
 忘れず、会場の空気はとても温かいものになった。
 オリジナル曲、ドゥー・ワップやソウルの名曲、ポップ



写真提供/COTTON CLUB 撮影/米田泰久

スや靈歌、そしてポップ・ディランやU2の曲と、ヴァラ
 エティに富んだレパートリーは、アカペラの歴史を一
 夜にして追うような、贅沢な盛り合わせで満腹。

終演後にはサイン会を行ない、ファンと一緒に歌う
 場面も。長い活動歴は、彼らのこうした姿勢が支えて
 いるのだろう。また観たいと思わせる、楽しい一夜で
 あった。(濱田廣也)

“ブルースの都”シカゴをアピールするため ウェイン・ベイカー・ブルックスが来日パフォーマンス

シカゴといえばブラック・ミュージックの歴史的重要な
 拠点として本誌読者にはおなじみだが、このたびシカ
 ゴ観光局(CHOOSE CHICAGO / 観光促進を目的
 に活動する非営利組織)が日本事務局を開設。その記
 者発表会が2月5日に都内で行なわれた。シカゴ観光
 局プレジデント&CEO、ドン・ウォルシュ氏がシカゴの
 様々な魅力を紹介するなか、ブルースもまた現在のシ
 カゴの重要な観光資源であることをアピールするため、
 シカゴ・ブルースの未来を担うウェイン・ベイカー・ブル
 ックスが登場。長くシカゴで活動してきたギタリスト、牧
 野元昭氏がサポートを務め、これをやらないわけには
 いかない大定番“Sweet Home Chicago”を聴かせて
 くれた。わずか10分、2曲のみであったが、ロニー・ブ
 ルックスを父にもち、すでにアルバムも複数発表してい
 る実力の片鱗を見せてくれた。今度は彼のフル・ステー
 ジをシカゴに行って観たい。(編集部)



左から牧野氏、ウェイン・ベイカー、ドン・ウォルシュ氏

シカゴの観光情報満載のシカゴ観光局のホームページ
www.choosechicago.jp
www.choosechicago.com

The Blues Accordin' To
 Lightnin' Hopkins
 in The Sun's Gonna Shine
 ライトニング・ホプキンスの
 ブルース人生
 ウェイン PVDV-76) [DVD]

収録時間約41分 / 日本語字幕、
 英語字幕、字幕無しの選択可能

あなたがブルースにしびれ
 ないわけがない。(編集部)